

中央線沿線ゆかりの文学者たちと作品

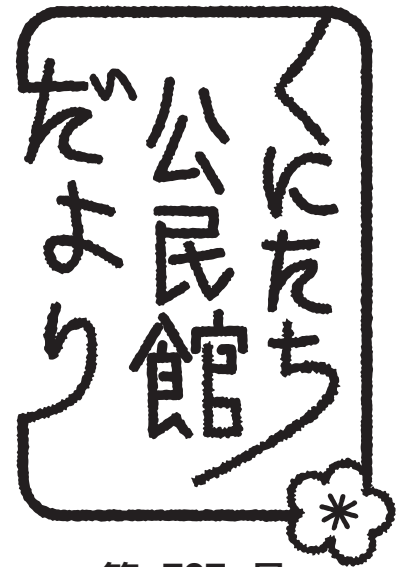
東京の東西をまっすぐ走る中央線。普段何気なく通っているその沿線には、その歴史とともに国立を含め様々な魅力的な風景が広がっています。文学者たちはそれをどう描いたのでしょ

う。9月からの連続講座でご講演いただく矢野勝巳さん（元三鷹市山本有三記念館館長・国立市在住）に、講座に先立ち文章をお寄せいただきました。一緒に、タイムトラベルしてみましょ



1964（昭和39）年頃の国立駅南口

（出典：『くにたち あの日、あの頃 一写真に見る少し昔のくにたち〜』くにたち郷土文化館 2017年3月）



第 727 号

2020年9月5日

(令和2年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

今月の公民館 (9月、10月初)

- 10日(木)夜 くにたちブッククラブ
井上 靖『敦煌』
- 19日(土)朝 NHK学園高等学校共催
“子ども・若者地域参加サポーター入門”第2回
- 20日(日)昼〜 中央線沿線ゆかりの文学者たちと作品
- 27日(日)朝 人権講座 〜いじめを生む教室〜
- 10月3日(土)昼 図書室のつどい

『13歳からのアート思考』

- 6日(火)〜 「はじめての銅版画」展
- 11日(日)昼 版画をつくってみよう!
- 11日(日)昼 『誰も知らないコケの生き方』
- 13日(火)朝〜 女性のライフデザイン

今後の動向により、開催の延期や中止など変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせいたします。ご不明の点はお問い合わせください。



公民館 ☎ (572) 5141 公民館の情報▶

小説をはじめとした文学作品を
読むことには、様々な楽しみがあ
ります。描かれた地域の風景を見
つけ出し、作品の中で位置付け
るといった楽しみを加えると、作品
の別の側面が見えてきます。それ
は、より興味深く作品を味わうこ
とができると共に地域の魅力の再
発見にも繋がるのではないでしょ
うか。

新宿より西の中央線沿線には、
関東大震災後に多くの文学者が移
り住みました。戦前には、横光利
一、川端康成、吉川英治、北原白
秋、与謝野寛・晶子夫婦、小林多
喜二、太宰治、井伏鱒二、山本有
三、武者小路実篤等日本の近代文
学を代表する文学者たちが沿線
に住んでいました。今も中央線沿線
は著名な文学者が多く住む地域で
す。近年は、中央線沿線の各地が
作品の舞台として頻繁に登場し、
それらの舞台が映画やテレビドラ
マのロケ地としても注目されてい
ます。

戦前は新開地と呼ばれたこの地
域は、都心との適度な距離感もあ
り1960年代中頃以降中央線文
化と呼ばれる個性的な文化が各駅
ごとに花開きましたが、それは作
家の居住のきっかけにもなりまし
た。

26歳の時から西荻窪に住む角田
光代は、住み始めたきっかけを、

「古本屋さんをふくめて書店が多いこと、個人経営の飲み屋さんが多いこと、商店街が充実していること」(『散歩の達人』2019年11月号)と話しています。角田は、

中野から武蔵小金井までの中央線沿線の様々な街を舞台とした短編集『ドラママチ』において、街の個性を鮮やかに描きました。学生時代に住んでいた吉祥寺に舞戻って住んでいる山田詠美も、エッセイや小説で沿線の街々の魅力を描いています。一方、沿線の街にも光と影があります。桐野夏生は『抱く女』において、学生時代の自身の体験に基づく1972年の吉祥寺の影を描いています。

風景は変わっていきます。落合恵子の自伝的な小説『夏草の女たち』では、昭和27年頃の東中野駅周辺の原っぱが描かれています。都心の近くでも高度経済成長期前までは原っぱが各地にありました。

街の急激な変貌について、1938年より荻窪に住んでいた石井桃子は晩年次のように書いています。「これが繁栄なのだろうか。私の心の芯には、まだ道路も土であったころの、ひと気の少なかった荻窪駅南口の出口の、まだ空が大きかったころの光景がこびりついてはなれないのである。」(『南口の亡霊』『東京人』1995年

11月号) 文学作品を読むことは、失われた風景を心の中で再現する行為でもあります。

崖線と湧水は中央線沿線の地形的な特色であり魅力の源泉でもあります。武蔵野の三大湧水池である善福寺池と井の頭池は、作品の重要な場所として描かれています。井伏鱒二の『荻窪風土記』には、

戦前の水量豊富で澄んだ流れの善福寺川にまつわる話が書かれています。近年では、越谷オサムの『陽だまりの彼女』が善福寺池を、三浦しをんの『あの人に暮らす四人の女』が善福寺川周辺を舞台として描かれています。井の頭池を含む井の頭公園は、太宰治の『ヴィヨンの妻』をはじめ最近の話題作である又吉直樹の『火花』など非常に多くの作品の舞台となっています。



善福寺池

ハケと呼ばれる国分寺崖線の下にあり湧水を集めて流れる野川は、



国分寺崖線と野川

野川公園付近が多くの作品に描かれています。復員者の眼で戦後まもなくのハケと野川を描いた大岡昇平の『武蔵野夫人』以後、近年は長野まゆみの『野川』や高村薫の『我が少女A』の描く現在の風景が注目されています。なお、

忌野清志郎の曲『多摩蘭坂』や黒井千次の『たまらん坂』で知られる国立と国分寺を結ぶたまらん坂は、国分寺崖線を横切る坂道です。三鷹と国分寺に住んでいた村上春樹は、国立を含め中央線沿線の各地を様々な作品に描いています。三鷹での生活は、1969年から結婚するまでの約2年間でした。当時のことを、「駅まで遠いことが難といえれば難だけど、なにしろ空気がきれいだし、少し足をのばせば武蔵野の雑木林がまた自然のまま残っているし、すごくハッピー

1だった。」(『村上朝日堂』若林出版企画 1984)と書いています。



大学通り(2020年 春)

国立は大学通りを中心に多くの作品の舞台となっています。1950年から国立に住む嵐山光三郎は、自伝的な小説『夕焼け学校』や『夕焼けの町』において、50年代の国立の風景と桐朋学園での生活を生き生きと描いています。嵐山は、長期連載「コンセント抜いたか」(『週刊朝日』)では、今も適宜国立での日常を綴っています。

山口瞳は、1964年より国立に住み終の棲家としました。国立をモデルとし、住民が増え変わりゆく町を描いた『わが町』や地元で暮らす人々の人間模様を描いた『居酒屋兆治』において、郊外都市の多様な姿を表現しました。都会育ちの山口は、国立に引越して

来た当初、東京は山の手線の内側だけでいいと考えていましたが、後に、「私は国立市を永住の地にしようと思っている。おそらく女房も同じと考えていると思う。いや、もし、この町を出ていこうと私が言いだしたら、女房は顔面蒼白になって抗議するだろう。」(『国立谷保の文蔵のモツ焼き』『行きつけの店』TBSブリタニカ 1993)と書くようになりました。



山口瞳文学碑(谷保天満宮 梅林)

国立は他にも赤川次郎や多和田葉子などゆかりの作家が多くいます。

講座においては、より多くの作家を取り上げ、文学に描かれた風景を具体的に見ていきます。

文章および2面の写真提供

矢野勝巳(元三鷹市山本有三記念館館長)





〈文化・芸術〉

中央線沿線ゆかりの文学者たちと作品

新宿以西の中央線沿線ゆかりの文学者たちと戦後の作品を紹介していきます。

文学における風景とは何か。文学者たちが、駅ごとに個性のある中央線沿線の風景をどのように描いたのか。また沿線地域への居住のきっかけは何だったのか。そう言ったことに注目しながら、文学作品を見ていきます。

第1回目は新宿以西八王子までの中央線沿線の作品のなかの風景とゆかりの作家を、第2回は国立市に焦点をあてます。さらに第3回目は国立市を舞台としている『居酒屋兆治』をご覧いただき、著者山口瞳のご子息で映画評論家の山口正介さんにお話を伺います。

身近な地域の魅力を再発見しながら、秋の夜長を楽しむ作品を見つけてみませんか。

第1回 文学作品に描かれた中央線沿線の風景

講師 矢野 勝巳(元三鷹市山本有三記念館館長)
とき 9月20日(日)

第2回 文学のなかの国立

講師 矢野 勝巳
とき 9月27日(日)



第3回 『居酒屋兆治』

山口 瞳 原作 (DVD 90分) 上映
(1992年 制作:国際放映株式会社 出演:渡辺謙ほか)
上映終了後、著者山口瞳のご長男である山口正介さんに作品や著者にまつわるお話を伺います。
講師 山口 正介(映画評論家)
とき 10月4日(日)

時間 昼2時～4時 全3回(第3回は5時まで)
場所 公民館 地下ホール
定員 40名(原則3回続けて参加できる方、申込先着順)
申込先 9月8日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

再掲

〈女性の生き方を考える講座〉

女性のライフデザイン

人生では、様々な選択や意思決定が必要です。なかでも子育ての時期は、育児、パートナーや家族関係、仕事や自分の将来について悩む人が少なくありません。でも悩むのは「こう生きたい」という希望や目標があるからです。自分はどういう人生や暮らしを送りたいのか、それを実現するにはどうしたらいいのか、具体的に考えてみませんか。同じ地域に暮らす女性たちと一緒に話し合うことで、次のステージを見つめてみましょう。

この講座は、会場での参加と、WEB会議システムを活用したオンラインでの参加を併用します。

大人が学んでいる間、子どもは公民館保育室であずかります。保育室では子どもたちの成長を大事にしています。



コーディネーター 新井 浩子(早稲田大学)
他ゲストトークありの予定

とき 毎週火曜日、朝10時～12時
全13回。10月13日～2月2日
(10月20日、12月16日～1月11日は休み)
3月にフォローアップの回あり。

ところ 公民館 地下ホールほか

対象 女性(年齢不問)

定員 会場受講:20名
オンライン受講:10名

申込先 9月9日(水)朝9時～
10月6日(火)夕5時

会場受講:電話 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

オンライン受講:sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

参加方法の詳細は、お申込み下さった方に、10月8日(木)までにメールをいたします。

〈取り上げるテーマ〉

- ・ライフ&キャリアデザインの基礎知識
- ・日本の男女格差問題
- ・子どもの成長と親の役割
- ・父親の育児参加
- ・これからの人権—LGBT I
- ・自分時間を考えよう

など



保育 子ども定員10名(市内在住で会場受講の方のみ、申込先着順)。講座の申し込みと同時に申し込み。保育室オリエンテーションを10月6日(火)朝10時から行いますので、お子さんと一緒に参加してください。おやつ代325円(全13回分)をお持ちください。



新型コロナウイルス感染予防対策のため、延期となった講座(4月号掲載)の追加募集です。



子どもの育ち・若者の自立を支える
「地域参加サポーター入門」連続講座 第2回 座談会
居場所づくりの“今”と私たちができること

講師 阿比留 久美 (早稲田大学)

with コロナ社会における子ども・若者の居場所づくりにおいて、「私たちに何ができるのか」を探る連続講座です。第1回は全国の先進事例や子ども・若者がいま置かれている状況を学びました。

今回は、市内で居場所活動を行う団体とそこを利用する子ども・若者を招いた座談会を開催します。コロナ禍の前や自粛期間中、現在の実情についてお話を伺い、その後のグループディスカッションを通して、居場所づくりの“今”と難しさについて、団体と個人の立場から私たちができることを考えます。

会場での参加とWEB会議システムを活用したオンラインでの参加を併用します。連続講座ですが、1回からの参加も可能です。是非、お気軽にご参加ください。

■第3回の予定：10月17日(土)10時～12時(公民館)
今後の取り組みについて考える「ワークショップ」

共催 NHK学園高等学校
とき 9月19日(土)朝10時～12時
ところ 公民館 地下ホール
定員 会場受講：30名、オンライン受講：30名
*いずれも、申込先着順

申込先 9月9日(水)朝9時～17日(木)夕方5時
会場受講：公民館☎(572)5141
オンライン受講：✉sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp
参加方法の詳細は、9月18日(金)までにメールいたします。

オンラインによる講演の視聴にあたって
当日の参加者側の環境での接続や音声の不備についての対応やお問い合わせのお電話などの対応は出来かねます。

再掲 は、新型コロナウイルス感染防止のため中止としていた講座です。

〈くにたちブッククラブ 空間を超えて世界と向きあう文学〉
井上靖 『敦煌』
(新潮文庫)

講師 大木 志門 (東海大学・日本近代文学)

とき 9月10日(木)夜7時半～9時半
ところ 公民館 地下ホール
定員 30名(今年度すでに申込済の方は申込不要です。)
申込先 公民館☎(572)5141
*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

再掲 (人権講座)
いじめを生む教室
～子どもを守るために知っておきたいデータと知識～

講師 須永 祐慈 (NPO法人ストップいじめ!ナビ)

「いじめ問題」を解決するために必要な知識とは何か。いじめによる悲惨なニュースが報じられ、そのたびに多くの議論が交わされますが、その中には具体的な根拠に欠けるようないじめ理論も見られます。「自分の頃はこうだった」「そんなのいじめじゃない」など、身の周りの大人や親がもつ独自のいじめに対する考え、さまざまないじめ観が存在する中で、子どもが置かれている状況やいじめの兆候を見逃してしまう……それでは、子どもから見ると、大人が逃げたと感じ、頼りない存在になってしまいます。

いじめが社会問題化して以来30年以上になりますが、日本でも世界でも数々の研究が行われてきました。今回の講座では、そうした研究データやコロナ禍の事例などを紹介しつつ、本当に有効ないじめ対策とは何か、考えます。

講座は、会場での参加とWEB会議システムを活用したオンラインでの参加を併用します。

とき 9月27日(日)朝10時～12時
ところ 公民館 地下ホール
定員 会場受講：40名、オンライン受講：30名
*いずれも、申込先着順

申込先 9月9日(水)朝9時～24日(木)夕方5時
会場受講：公民館☎(572)5141
オンライン受講：✉sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp
参加方法の詳細は9月25日(金)までにメールいたします。

公民館運営審議会報告

8月11日(火)第32期第22回定例会を開催。委員15名、館長、職員1名出席。傍聴人3名。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会

だよりはこれまで講座の案内が中心だったが、これからはQRコードを活用したオンライン情報提供やアーカイブも工夫できるといい。

○社会教育委員の会

7月28日定例会開催。「職員の専門性の確保」について、引き続き議論。次回は8月25日、同項目について、計画の振り返りが議題。

○東京都公民館連絡協議会

第57回研究大会が来年1月24日に町田市で開催予定。テーマは「コロナ時代に向き合う公民館」。委員部会研修会は、10月24日に小平市中央公民館にて「緊急事態宣言後の公民館の在り方」で開催。

○新型コロナウイルスと公民館

「市民の学習の権利が奪われたこと」「休館中の判断を公民館としてどう考えたのか」「休館中の対応」「誰が一番困ったのか(市民目線)」などの9項目について議論してまとめていく。

○公運審のまとめ

第32期公運審が学び議論してきたことについて、職員体制充実要望書等の提出、社会教育学習会の開催、公民館利用ルールのあり方の議論、コロナ後のあり方などをまとめ、公民館だよりで報告する。次回9月8日(火)夜7時15分から地下ホール。傍聴歓迎。(鶴田)

〈図書室のつどい〉

—「自分だけの答え」が見つかる—



『13歳からのアート思考』



お 話 末永 幸歩

(美術教師・東京学芸大学個人研究員・アーティスト)

子どもの頃には誰もがもっていた「自分だけのものの見方・考え方」を、皆さんは失っていないでしょうか？もしかすると、答えや正解を追い求めるような現代の教育により、気がつかないうちに私たちの視野は狭くなっているのかもしれない。

本書はそんな私たちの目を覚まし、新たな方向へ成長するきっかけを与えてくれます。今回は著者をお呼びして、今大注目の「アート思考」についてお話しいたします。アート作品を通したエクササイズを実際に体験し、「アート思考」を深めることで自分の前に新しい道がどんどん増えていくような感覚を皆さんも味わってみませんか？

〈末永さんの本〉

『13歳からのアート思考』(ダイヤモンド社)

と き 10月3日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 40名(申込先着順)

申込先 9月18日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



「誰も知らない コケの生き方」

再掲

お 話 樋口 正信(国立科学博物館)

コケは、熱帯から極地まで海と砂漠以外の場所ならどこにでも生えています。そして日本には、アスファルトの隙間に生えているギンゴケから天然記念物に指定されているヒカリゴケまで、世界的にも豊かなコケ植物相があります。そこには小さくとも生きていく上でのさまざまな工夫が見られます。

今回はコケ研究の第一人者である樋口さんに、コケとはどんな生き物なのか、シダや種子植物との違い、また他の生物との関わり等についてお話しいたします。

〈樋口さんの本〉

『コケのふしぎ』(SBクリエイティブ)、『コケを見に行こう！～森の中にひっそり息づく緑のじゅうたん』(監修、技術評論社)、『標本学』(共著、東海大学出版会)ほか

と き 10月11日(日) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 40名(申込先着順)

申込先 9月16日(水)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

版画をつくってみよう！

—プレス機体験ワークショップ—

プレス機を使って、本格的な版画を体験してみませんか？紙の版(ドライポイントプレート)とプレス機を使って版画を作ります。紙の版に、線を描いたり、切ったり、はがしたりして、インクを詰めて刷ると、銅版画のような作品ができ上がります。

講 師 タダ ジュン(イラストレーター・版画家)

さかた きよこ(版画家)

山本 佳奈枝(版画家)

と き 10月11日(日) 昼1時～4時

第1部 昼1時～2時

第2部 昼2時～3時

第3部 昼3時～4時

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

定 員 30名程度(各部10名程度)

申込先着順・3部入替制

申込先 9月15日(火)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

材料費 200円

持ち物 エプロン(よごれてもよい服装)

ハガキサイズぐらいの下絵(なくても可)

※所要時間は1時間程度です。定員を超えた場合は、締め切らせていただきます。完全入れ替え制ですので、申し込まれたお時間に間に合わない等、不都合がありましたらご連絡ください。



同時開催！

「はじめての銅版画」展

創作講座「はじめての銅版画—Etching Work Shop—」の作品展を行います。一人ひとり個性豊かな作品ができました。ぜひ見に来てください！(今年は昨年度の参加者の作品も同時に展示します!!)

と き 10月6日(火)～11日(日) 夕5時まで

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

問合先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

講座に参加される皆様へ

現在、公民館では、新型コロナウイルス感染対策として、すべての講座において人数の規模を縮小し、事前申込み制で実施しています。講座にご参加の際は、皆様安心して学習ができますよう以下の点にご協力ください。

- ・ 自宅で検温してからお越しください。
- ・ 発熱や体調の悪い方は、参加をご遠慮ください。
- ・ マスクを着用してください。

ひろば



植物画・スイートピー会員募集

花に向かって水彩画の筆を走らせると新しい発見があり、楽しい感慨に浸れます。この秋新たに仲間を募集！見学の方も連絡をお待ちします！

日時 第2、4水曜日 午後
場所 芸小ホール アトリエ
連絡先 安井080(5528)2658

「太極操サークル」会員募集

ゆつくりとした動きの武術である太極拳は、健康・美容に効果が高く老若男女問わず人気があります。初心者の方も安心してできるレッスンです。まずは体験を！

日時 毎週火曜日 朝10時～12時
場所 矢川集会所
連絡先 長谷川090(8303)7254

ゲートボール初心者教室 無料

軽く振ったスティックでボールがはずむ、ゲート通過で続けて打てる、運動靴でご参加ください。

主催 国立市ゲートボール連盟
日時 (木)週2回10月8日朝10時
場所 矢川上公園ゲートボール場
連絡先 鈴木(524)1718

水泳「とびうお」会員募集

女性の皆さん！健康づくりとストレス解消！温水プールで快適な汗を流しませんか。レベル別に女性コーチが親切に指導。会員は女性のみ。体験水泳可。

日時 毎週火曜日 昼12時～14時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 野上(574)9728

一緒にギターを弾きませんか

クラシックギターで合奏、重奏、独奏等を楽しんでいます。いろいろなジャンルの曲に取り組んでいます。どなたでもどうぞ。

日時 毎週日曜日 昼1時～5時
場所 東福祉館、西福祉館等
連絡先 石井090(8509)6705

数学を楽しむ集い(9月期)

宇宙人と出会う確率や数学記号の歴史をご紹介します。数学の思いがけない使い方がお分かりいただけます。どなたでも気軽にお越し下さい。参加の方はお電話を。

日時 9月19日(土)26日(土)昼1時
場所 公民館 集会室
連絡先 山本(572)1028

学習会「井上スズさんの思想と行動から学ぶ」 学ぶ会主催

1967～1999年国立市議として歩道橋反対など市民本位の町づくりを進めた活動を追って。

報告 高田雅士(二橋大特任講師)
日時 9月22日(火)休1時半
場所 公民館 ホール 3時半
連絡先 田島(576)4015(午前)

〈サークル訪問347〉 くにたち話し方勉強会

リハールで泣けた。マイクを使った本番はさらに素晴らしかった。それはコロナ自粛の休会開きの勉強会でのこと、会員3人によるグループ朗読「お母さんの木」を聞いた時の感想である。

開講以来40年、自主サークルとあって15年のこの会は、しっかりとした年間カリキュラムの下に月2回の活動を続けている。司会も毎回交互に担当し、1分間スピーチ、発声練習、朗読レッスン、対談などを行いながら、同時に合評をすることで聞く力もつける。

自主活動15周年を記念し、発表会を予定していたのが新型コロナウイルスの影響で来年に延期。年間スケジュールも変更を迫られた。この日のグループ朗読は代表の中浦さんが戦後75年に合わせ、子どもを戦争に奪われたお母さんの気持ちを描いた本を選んだという。

1冊の本を3人がかわるがわる読む。事前にしっかりと読み込み理解しているためか、心地よいリズムに乗せて内容が伝わり、感激が生まれる。終了後は全員で合評。朗読は感情表現が豊かになり、聞く力を養うという言葉に深く納得。会は年齢層が20代から90代と幅広く、世代を超えたつながりを持

っている。みなさんに参加の動機や会の魅力を伺うと、「日本語のゆたかさを知ることが出来る」「様々な人に会えていろいろな話が聞ける」「自分の話が人にどう伝わっているのかが分かり、厳しい勉強になり自信にもなる」「人前で話すのが苦手で、手も声も震え言葉が出てこないのを、何とか恥ずかしくない話ができるように」等々。

取材の私も参加し、1分間スピーチや朗読に挑戦してみたが、みなさんの集中力に脱帽。途中休憩をはさんであつという間の2時間。この会には豊かな体験に裏打ちされた歴史の重みがある。

会員は現在20名。随時募集中
日時 第2・4土曜日夕6時半
場所 公民館
連絡 中浦(577)5125
(文・写真 佐藤 節子)



みんなの集中力に脱帽

—11月(ロビー12月分) 会場調整会のお知らせ—

申込書のポスト投入期間	9月5日(土)～24日(木)
公用使用の貼り出し	9月11日(金)頃
予約の重なるのあった団体の掲示開始日	9月26日(土)～ ▶重なり状況 
会場調整会	10月3日(土)朝10時～

- ・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)
 - ・会場調整会へは、1団体1名の方が、手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、第1希望が取れなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方がご参加ください。
- 公民館 ☎ (572) 5141